**「文学研究×国語教育」の会（架ける会）夏期研究集会**

**第三項論が拓く新しい授業づくり**

**― ほんとうに「修羅」は「春」となるのか**

**（『注文の多い料理店』『永訣の朝』をめぐって）―**

**私たちは、これまでになかった新しい文学研究、文学教材の〈読み〉の実践研究の場として、「文学研究×国語教育」の会（略称・架ける会）を昨年8月に設立し、以降月例会を行っています。**

**文学研究も国語教育研究も、その研究成果は授業実践で生かされることによって実を結びます。ゴールは授業実践です。この会では、文学教材の〈価値〉を掘り起こし、〈読み〉と〈読み方〉の相関関係を語り合います。これまでの「正解到達主義」や「何でもあり」の〈読み〉に納得できない方々、是非ご参加ください。コロナ禍の状況に鑑み、ＺＯＯＭにて行います。**

**日時　2022年８月７日（日）　午前10時～午後4時　参加費　無料　オンライン開催**

　**9時45分からＺＯＯＭに入れます。 全体進行：坂本まゆみ （架ける会運営委員）**

午前10時　開会挨拶：中村龍一 （架ける会代表・松陰大学教授）

　 10時05分～12時40分　実践報告：宮澤賢治作品を読む （各実践報告30分・質疑応答10分）

　　　　　　司会：助川幸逸郎 （東海大学教授）

1. 小学校実践報告（10時05分～10時45分）

宮沢賢治『注文の多い料理店』の〈教材価値〉を問うー文学教育が拓く〈言葉の教育〉を求めてー

　　　　　　報告者：黒瀬貴広 （甲州市立松里小学校教諭）

1. 中学校実践報告 （10時45分～11時25分）

〈語り手〉を意識して読むー『注文の多い料理店』の紳士

報告者：山本富美子 （山梨県北杜市立武川中学校教諭）

　　11：25～11：30 休　憩

　　　③ 高校実践報告 （11：30～12：10）

　　　　 教室で読む『永訣の朝』ー「わたくし」の視点と「とし子」の言葉の交差から立ち上がるものー

　　　　　 報告者：古守やす子 （山梨県立塩山高等学校教諭）

 12：10～12：40　昼休み

　　12時40分～14時10分実践報告の検討会（パネルディスカッション）

司　　会：山下航正 （大分工業高等専門学校准教授）

 パネラー：望月善次 （岩手大学名誉教授・ＮＰＯ法人石川啄木・宮澤賢治を研究し広める会理事長）

　　　 横山信幸 （愛知教育大学名誉教授）

丸山義昭 （法政大学他非常勤）

　　14時20分～15時50分　田中実 都留文科大学名誉教授 講演 （司会：中村龍一）

 　　　　　　　　　　（演題　未定）

15時50分～１６：00分　閉会挨拶：作間慎一 （前玉川大学教授）

参加申し込み

**下記のURLをクリックして、メールアドレスとお名前を入力し、送信して下さい。折り返しＺＯＯＭのリンクを貼ったメールが返信されますので、当日はそこからお入りください。なお、配布資料は、前日午後４時以降「架ける会」ホームページに上げておきますので、各自ダウンロードしてください。**

<https://forms.gle/3adAmYaCDUHvGGkx9>